日本ヘルニア学会　会員　各位

**2025年度　研究テーマ募集**

　平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます．

おかげさまをもちまして，2023年から開始いたしましたプロジェクト研究は順調に進んでおり，2023年度閉鎖孔ヘルニア研究は論文作成段階，2024年度研究につきましても倫理委員会を通過しデータ集積を控えた状況です．

つきましては，来る2025年度研究につき，会員の皆様から研究テーマ募集をさせて頂きます。

ご要望のテーマにつき別項にご記入いただき，E-mailでお送りください．

要望テーマが複数ある場合はコピーしてご使用ください．

時節柄ご多忙とは存じますが，締め切りは

令和7年1月17日

とさせていただきます．

締め切り後，委員会で厳正な審議の上，テーマを選定いたします．

**研究テーマが採択された場合，発案者は基本的に研究代表者となり，委員会とともに研究終了時まで研究に携わっていただきます．**

ご質問のある方は日本ヘルニア学会事務局 (hernia@med.teikyo-u.ac.jp)まで御連絡下さい．

　　　　　　　　　令和6年12月16日

　　　　　　　　　　日本ヘルニア学会　理事長　蜂須賀丈博

プロジェクト委員会委員長　諏訪勝仁

（送付先メールアドレス）

[jhsprojectteam@gmail.com](mailto:jhsprojectteam@gmail.com)

基本メールのみの受付です．

|  |
| --- |
| **提出者氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　メールアドレス：** |
| **所属施設：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号：** |
| |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | 記入欄 | 例 | | 研究テーマ |  | 抗血栓療法が鼠径部ヘルニア手術にもたらす影響についての研究 | | 研究の目的（研究で具体的に何を知りたいのか？またそれが世に発信する価値があるのか[新規性]？などできるだけ具体的お書きください．） |  | 抗血栓療法と手術成績の関連の報告は多々あるが，抗血小板療法，抗凝固療法，あるいはその継続，置換，休止などの細分化された状況下でみた成績報告は極めて少ない．また，多施設間でのhigh volumeなデータでの報告は皆無に等しいため，報告の意義があると考える． | | 研究のデザイン  （フローチャートがあればより望ましいです） |  | 抗血栓療法下鼠径部ヘルニア患者の詳細な状況（継続，置換，休止など）でみた合併症（再発含む）の診療録からの解析（多施設共同調査）．  同時期に行われた非抗血栓療法患者との傾向スコアマッチングを用いた手術成績の比較検討 | |

以上